

# 電腦援助

浅田英輔 Ver.17

## Convenience

私が小さいころと比べても、世の中が「便利」になってきた。ケータイを持ったのは大学生のころだし、パソコンを初めて買ったのは就職してから何年かしてからだ。家は冬でも暖かいし、風呂はボタンを押せば沸いてくれるので、溢れることはない。コンビニで大抵のものは揃うし、ネットで注文すれば届けてもらうこともできる。お金さえあれば、食べ物なんかもコンビニですぐ買えるし、調味料が切れたら買いに行けばいいのだ。



便利を否定する意見があったりするが、私は以前の不便な生活に戻りたいとは思わない。

おそらく、「便利」というのはいいことだと思うが、便利になるのは功罪あると思う。便利ってなんなのか考えてみる。

### ○便利とは、時間がかからないこと

まずあげられるのは時間だろうか。物事を処理するのに時間がかからなければ、より多くの処理ができるようになる。これは便利。インスタント[instant = 即席、即座]なものが流行るのは、便利だからである。

交通機関も時間がかからないものが便利とされる。新幹線はすごい。ちょっと前まで「青森―八戸間」は2時間半とかかかっていたのに、いまは30分で行けちゃう。便利。青い森鉄道で八戸行くのなんか、面倒くさいのである。



パソコンにしても、速さが求められる。何か入力するたび止まってしまうものより、パパッと動いてくれるもののほうが便利なのである。



でも、レトルト食品より手間がかかる手料理は不便か。逆に、手料理はレトルトより偉いのか。時間があるなら手作りすればいいし、余裕がないなら惣菜でもレトルトでもよい。どちらが優れているということではなく、選択肢の一つでしかないだろう。

鈍行の旅は不便か？私は目的地にはやくついた方がよいが、「鈍行を選ぶやつはおかしい」なんてことは思わない。好き好きである。

型遅れのパソコンは不便か？不便だ！パソコンは最新型がいいね！！

## ○便利とは、手順が少ないこと

「交通の便」という言葉もあるし、交通機関は、乗り換えが少ないことがよしとされている。何度も乗り換えがあることは「不便」なのだ。東京で暮らしていると、電車での移動距離が長い。少し遠くに行く時の各駅停車はかったるいのだ。

自動車の操作にしても、マニュアルよりもオートマのほうが手順が少なく、便利といえるだろう。自動運転システムは今後整備されていくだろう。

パソコンの世界でも、アプリケーションの操作などでは「いかにクリック数を減らすか」が重視されている。クリック数を減らすということは、分岐を減らす、選択肢を減らすということにもつながるので、バランスが難しいのだ。

会員サイトの登録でアカウント作るときなど、いくつもパスワードが必要だったり、住所から全部入力しないとだめだったりと入力項目が多いものは面倒くさいのだ。

これは「インターフェイス」にも関係してくる（電腦援助Ver.13参照）。どういう画面、どういう選択肢を出せば、ユーザーが迷うことなく適切な入力をしてくれるか、簡単に入力してもらえるかを考えるのだ。インターフェイスにおける文字入力の手間を排除しようとして現れたのが音声入力である。話しかけるだけで検索してくれたりするのは便利である。この分野はこれからもどんどん精度が上がって行くだろう。SIRIは便利だが、人中で音声検索ははずかしいのだ。

でも、私はやっぱりマニュアル車に乗りたい。自分で運転している感覚が多いのは楽しい。でも毎日の通勤は自動運転でもいいかもしれない。なんでも手順を省かれるのは、困るといえるか楽しくないのである。

パソコンの世界の話にしても、手順を減らすというのは、ユーザーに危険な面もある。手順、確認が減るわけなので、規約の同意なども簡単にしてしまうことがある。細かい時でへんな規約を書いておいて、「規約に同意したんだから金を払え」というのは悪質サイトでは常套手段である。「便利」にはちょっとこわいところもあるのだ。うまく便利に使うには、警戒心とトラブル対処法も必要になったりする。



## ○便利とは、選択肢がすくないこと

選択肢が多いほうが便利なような気がするが、「必要な選択肢が少数あること」のほうが実はよい。品揃えが豊富で、多くの種類が並んでいるというのは便利なようだが、ひとつの欲しいものを買うためには、たぶん不便である。2000年以前と以後の違いのひとつに多様性が挙げられるが、多様な選択肢というのは実は不便なのである。「みんなが使えるもの」よりも「自分専用にカスタマイズされたもの」のほうが便利である。選択肢は少ないほうがよいが、少なすぎるのもまた不便になってしまう。ある程度の選択肢は必要といえる。



amazonなんかやっている「あなたにおすすめの商品」などは購買意欲をそそるものである（蛇口を検索したら、蛇口をひたすらにおすすめしてくることはあるが）。自分好みのものをうまく進めてくれるコンシェルジュAIなんか便利そうであるが、それでも自分で選びたいという気持ちは出てくるかもしれない。自分の気分を押し量ってくれたりしたら面白いが、「余計なお世話だ」と思うこともあるかもしれない。

ウィンドウショッピングは不便か。自分に最適化された店は、新たな発見がない。いつも同じ感じの商品を手にすることになる。それは穏やかな生活かもしれないが、刺激がないのもつまらなそうである。かわいい彼女と、何を買うでもなく街をぶらぶらするのは全く便利ではないが、必要なことなのかもしれない。

## ○便利とは、検索機能が優秀であること

種類が豊富でもよいが、欲しいものがどこにあるかすぐわかると便利である。大きな書店や図書館では、大抵パソコン端末が置いてあって、館内の図書検索ができるだろう。



大きなバスセンターはどこに行くのにも便利だが、どこかバス停からどこ行きのバスに乗れば目的地にいけるか、ということがわからなければ、逆に不便になってしまうのだ。新潟市の万代シティバスセンターは「不便」だった。

インターネットの世界も無限に広いため、検索機能がなければ使い物にならない。情報過多である現代においては、簡単な検索で目的の情報にたどり着けることが「便利」といえるだろう。検索サイトの優劣が競われるのもこのためである。

机が綺麗に片付いている状態とは、「何がどこにあるかわかること」といえるが、非常に散らかっていても自分で何がどこにあるかわかっているなら、便利さという点においては同じことといえるだろう。

## ○便利とは、頭を使わないこと

「思考停止」っていうのは便利なのだ。何も考えなくとも物事が進んで行くというのは、実は「便利」と言える。上で選択肢の話もしたが、何も選択する必要がない、というのがよいか悪いかは別にして、便利なのである。

蛇口をひねるとなぜ水がでるのか。車はどうやって動くのか。パソコンの中身はどうなっているのか。これらは考えなくてもいいし、知らなくてもいい。でも、便利なのである。どうやってできているかといった知識を持つことも大事だが、知ってても知らなくても便利さはかわらない。選挙なんて、誰が当選してもたいして変わらないし、勝手に決まってくれればいい。

でもやはり、人間は考えなければならない。上水道の仕組みを理解しなくともいいが、トイレが詰まった時に「仕組みなんてわかんないもん！」と言ってもどうにもならない。テレビCMを思い出して電話するのか、ネットで検索して修理屋さんを探すのか、多少頭を使わなければならない。「議員なんて誰でも同じ」という意見もわからなくないし、一票でガラッとかわるなんてこともないんだけど、自分が思う「よりよい世の中」にするために、自分が属する市の議員なんかは、どういう人がいいのかは考えたい。

ピクサーのウォーリーの世界はあながち遠い未来ではないのかもしれない。

## ○便利とは、同じことを繰り返さなくてよいこと

特にルーチンワークについて言えるが、同じ作業をより簡単なやりかたで処理できるのであれば、それは非常に便利といえる。

東京にいとSUICAがとて便利である（青森の駅にはまだ導入されていないのだ！）。「毎回切符を買う」という同じことの繰り返しを排除した便利さといえる。さらにいえば、さまざまなクレジットカードやプリペイドカードが統合されると非常に便利になることであろう。

仕事においても、考えなくともよい、毎月やる計算などは全部エクセルにお願いしてしまえばいいのである。それを「手作業でやるのが仕事だ」なんていってる大人はもう邪魔なだけなのだ。効率化できる部分を効率化しない仕事の仕方は、これからは不要になるのである。

こうやって便利さを挙げていくと、便利が必ずしもいいことではないということがわかるだろう。そんなことはみんなわかっているのだろうが、つい楽しんでしまうのだ。「楽に生きる」には便利であることに越したことはないが、「楽しく賢く生きる」には、ときには便利さが邪魔になるのだ。便利さは、ときに楽しさを奪ってしまう。ときには細やかな違いを奪ってしまう。かといって、便利が「悪」なのでもない。「昔はよかった」といって、自給自足の生活をしたいならすればいいが、私はしたくない。もちろん、それを選択する人を非難するつもりもない。自分で選べばいいだけなのである。便利さにしろ、不便さにしろ、それを押し付けるのが「悪いこと」なのかもしれない。

便利さを享受するにしろ、不便を楽しむにしろ、楽しく賢く生きたいなあと思います。

パソコンは最新型の方がいいと思います！

ネット回線もいくら速くてもいいと思います！

Let's Convenience!!

疑問・感想は [dennouenzyo@gmail.com](mailto:dennouenzyo@gmail.com) まで!